

SOLXYZ

株式会社ソルクシーズ
2023年12月期第2四半期
個人投資家さま向け説明会資料





-
- ① ソルクシーズグループはどんな会社？
 - ② 業績・株主還元
 - ③ 中期経営計画
 - ④ トピックス
-

ソルクシーズグループは
どんな会社？

ソルクシーズグループはどんな会社？

SIの会社だけじゃないよ

金融の開発だけじゃないよ

いままでは、

「金融システムに強いシステム開発会社」



**デジタルトランスフォーメーション（DX）で
日本のビジネスを導く会社**



会社概要



商号:	株式会社ソルクシーズ (SOLXYZ Co., Ltd.)		
設立:	1981年2月4日		
事業内容:	ソフトウェア開発・運用・保守、組み込みソリューション		
本社所在地:	東京都港区芝浦3-1-21		
資本金:	14億9,450万円 (2023/6月末現在)		
決算期:	12月31日		
従業員数	連結:801名 (2023/6月末現在)		
役員:	代表取締役社長 秋山 博紀 他常勤取締役 10名、社外取締役 5名、監査等委員会設置		
子会社:	11社		
上場市場:	東京証券取引所 プライム市場※ (証券コード: 4284) ※スタンダード市場への移行を発表済		
主要株主:	SBIホールディングス(株)	4,300千株	16.0%
	(株)ビット・エイ (コメリグループ)	2,640千株	9.8%
	長尾 章	1,119千株	4.2%
	(株)ヤクルト本社	1,060千株	4.0%
	自社株	2,347千株	8.8%
	発行済株式数	26,820千株	

(2023/6月末現在)



代表取締役社長 秋山 博紀

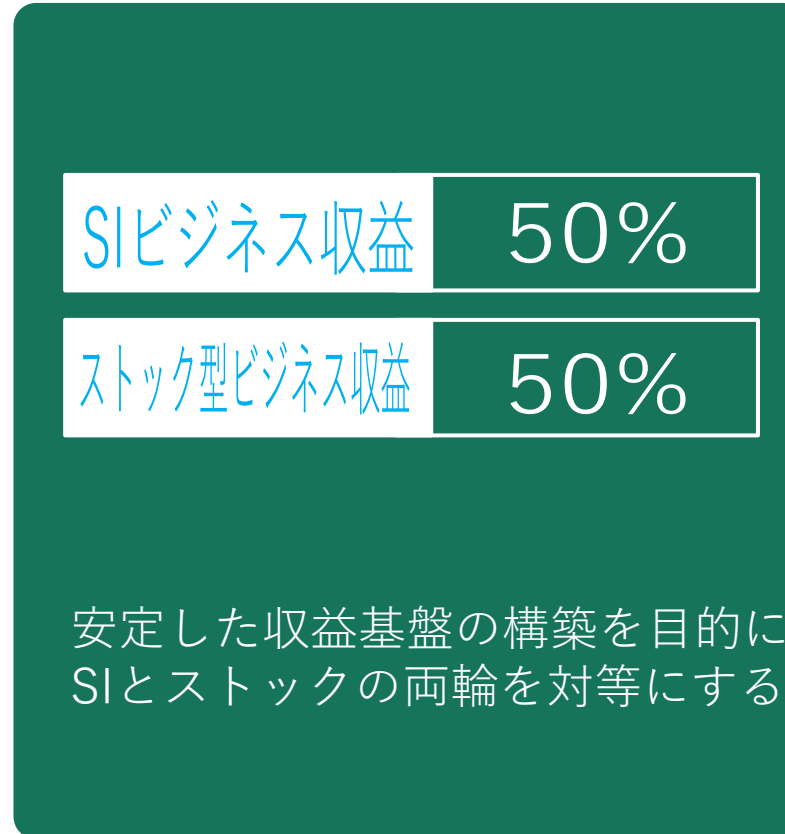
1964年1月25日生
1987年1月 当社入社
2004年4月 事業推進室長
2011年4月 執行役員
2011年4月 経営企画室長 兼 事業戦略室長
2015年3月 取締役
2020年3月 常務取締役
2023年3月 代表取締役社長に就任 (現任)



I. 専門店化



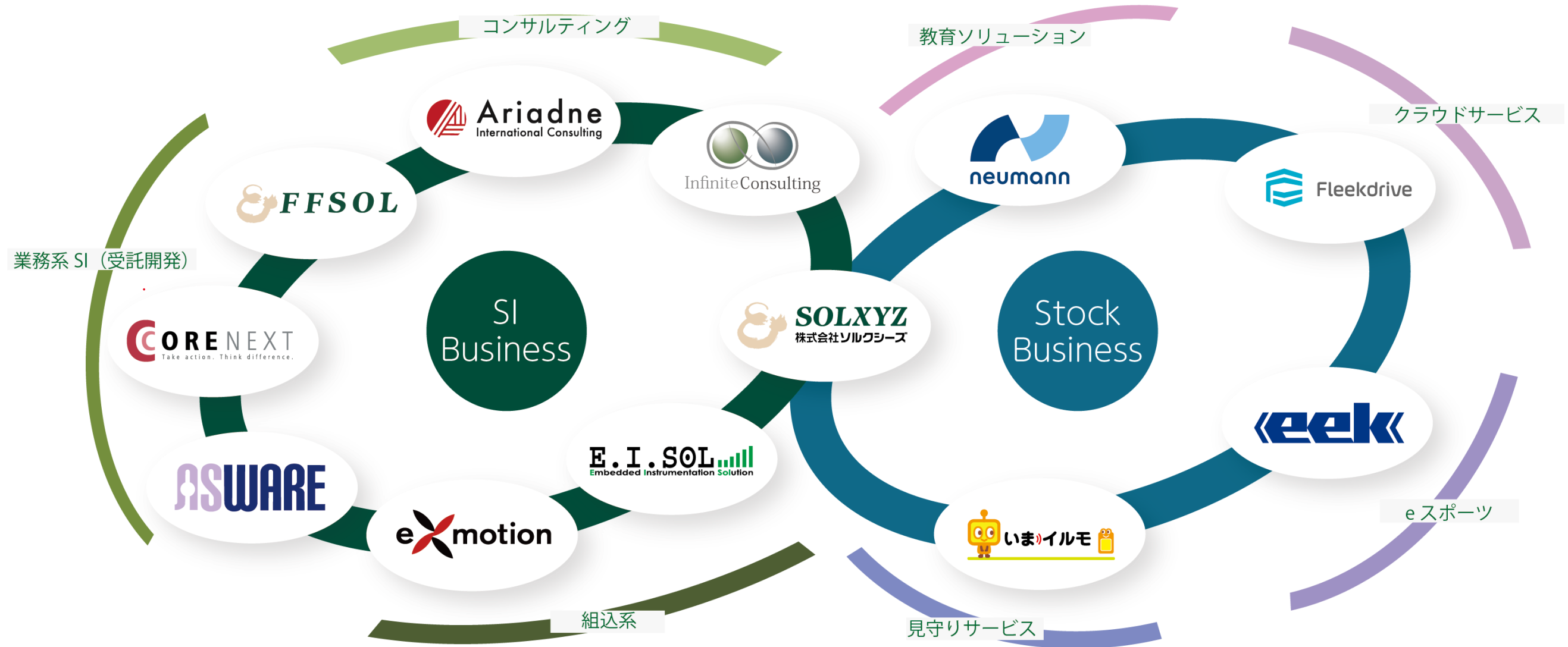
II. 収益構造の変革



III. グローバル展開



グループ会社の役割



ソルクシーズグループのセグメントについて

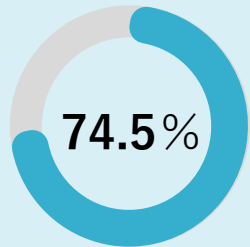


セグメント別 売上構成比

事業概要

グループ会社

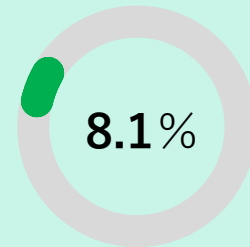
ソフトウェア開発事業



ソフトウェアの開発事業を中心に展開。
連結売上高に占める比率が最も高い主力事業。

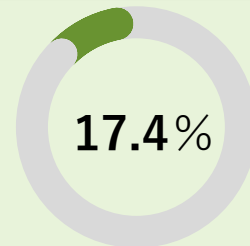
コンサル ティング

コンサルティング事業



開発の上流工程である設計・開発支援等のコンサルティングを中心に展開。
専門性の高い領域のため利益率が高く、一部子会社は案件をソフトウェア開発部隊へ繋ぐ役割を担う。

ソリューション事業



ソフトウェアのライセンス、カスタマイズ、保守等のソリューションを展開。
ストックビジネスによる安定した収益を確保。
将来の利益面の成長ドライバーとして期待。





デジタルトランスフォーメーション (DX)



クラウド

- FleekdriveとFleekformが中心の企業向けコンテンツ管理サービス
- 人事労務向けサービスFleeksormを新たに展開



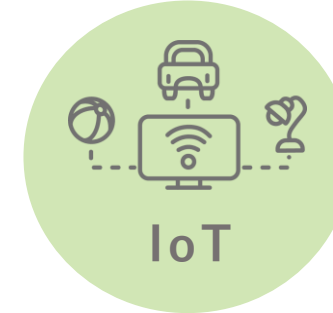
FinTech

- SBIが進めるブロックチェーン等を活用した各種ビジネスに技術協力を実施
- SBI主催の各種コンソーシアムに参加し、開発案件を創出



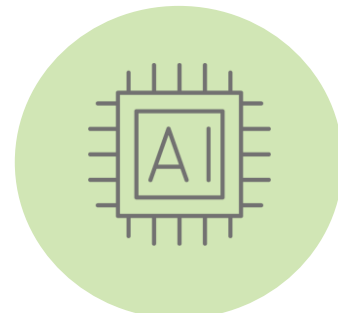
CASE

- エクスモーションが、CASEに対応する設計支援ビジネスを大手自動車メーカー向けに実施



IoT

- EISOLのIoTソリューション「状態監視/予知保全システム」が中心
- 見守りソリューション「いまイルモ」が全国各地で実証実験を進行中

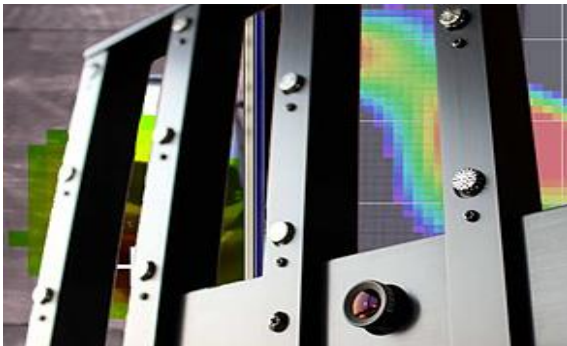
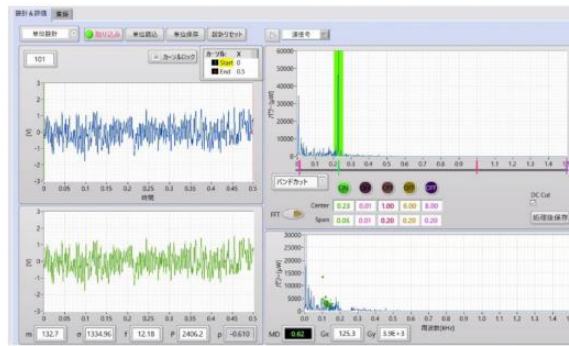


- **資本参加先の(株)アックス、(株)サイバーコアの技術の中核に、新しいAIソリューションの開発を展開予定**
- UiPath及びWinActorなど現場で必要とされる、RPA技術を用いたソリューション提供を推進



E.I.SOL

Embedded Instrumentation Solution



- IoT (IIoT) ・組込・制御・計測関連（特にセンサー系）のソリューションに特化したソフトウェア受託開発業
- IoTを駆使した工場の「予知保全システム」は引き続き好調。NI（日本ナショナルインスツルメンツ）社のデバイスCompactRIO等とEISOLの組込ソリューションの組み合わせにより、ハードとソフトウェア両面を備えたパッケージ展開を推進、導入実績多数
- 金融向けデータ分析を得意とするSAS社と、製造業向け計測ソリューションを得意とするイー・アイ・ソルがパートナーシップを組み、新たな領域展開を推進



**NI社認定GOLDアライアンスパートナー
世界1000社以上のうち60社程の上位資格**

イー・アイ・ソルは、ナショナルインスツルメンツ社認定GOLDアライアンスパートナーです。世界1000社以上のアライアンスパートナーの中で、**GOLD以上の有資格会社は60社程となり、その1社の認定**を受けています。



Technology/技術



Sound
Vibration

音・振動・色

音響振動の計測、
解析



Condition
Monitoring

状態監視

テストベンチ、生
産設備、エネル
ギー設備



Real-Time
Processor

リアルタイム処理

計測データを
Windows上で高速
処理



Predictive
Maintenance

予知保全

解析から自動化ま
でを実現 = 省人化、
属人化、技術継承



Embedded
System

組込システム

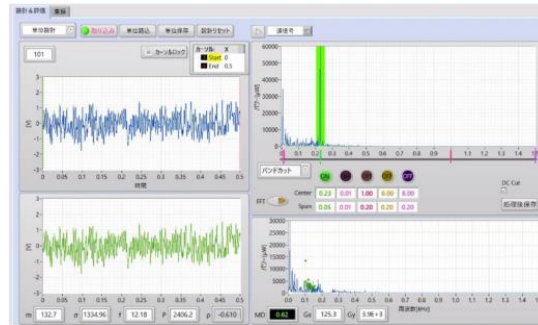
複雑な演算処理や
シミュレータの構
築はFPGAやLinux
で実現



Case Study/事例

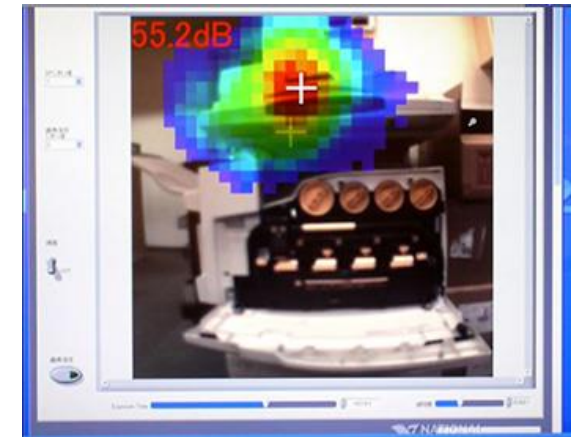
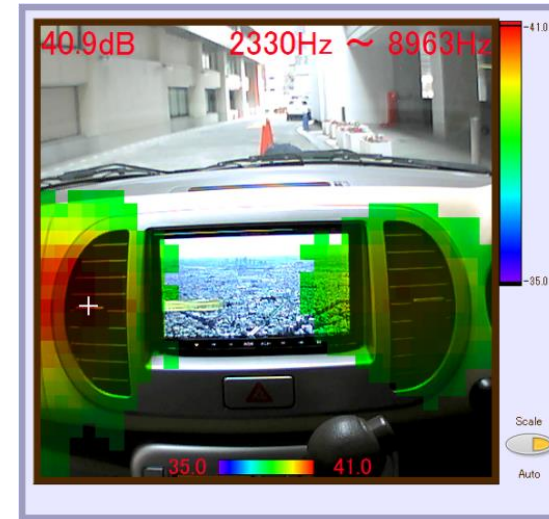
自動車部品会社様向け 予知保全システム

- 生産設備の突発的故障を予知するためのシステム。計測～予知保全解析～遠隔モニタリングまでトータルシステムを構築。
- 電力、製薬、鉄道会社などの案件増加。



リアルタイム音源可視化装置

- 音を見える化し、適切な防音・異音・騒音対策に。
- 業界初となる25fpsの高速処理を実現。今まで可視化が難しかった、突発音や移動・変化する音の可視化が可能になりました。
- 複写機メーカー、工場など

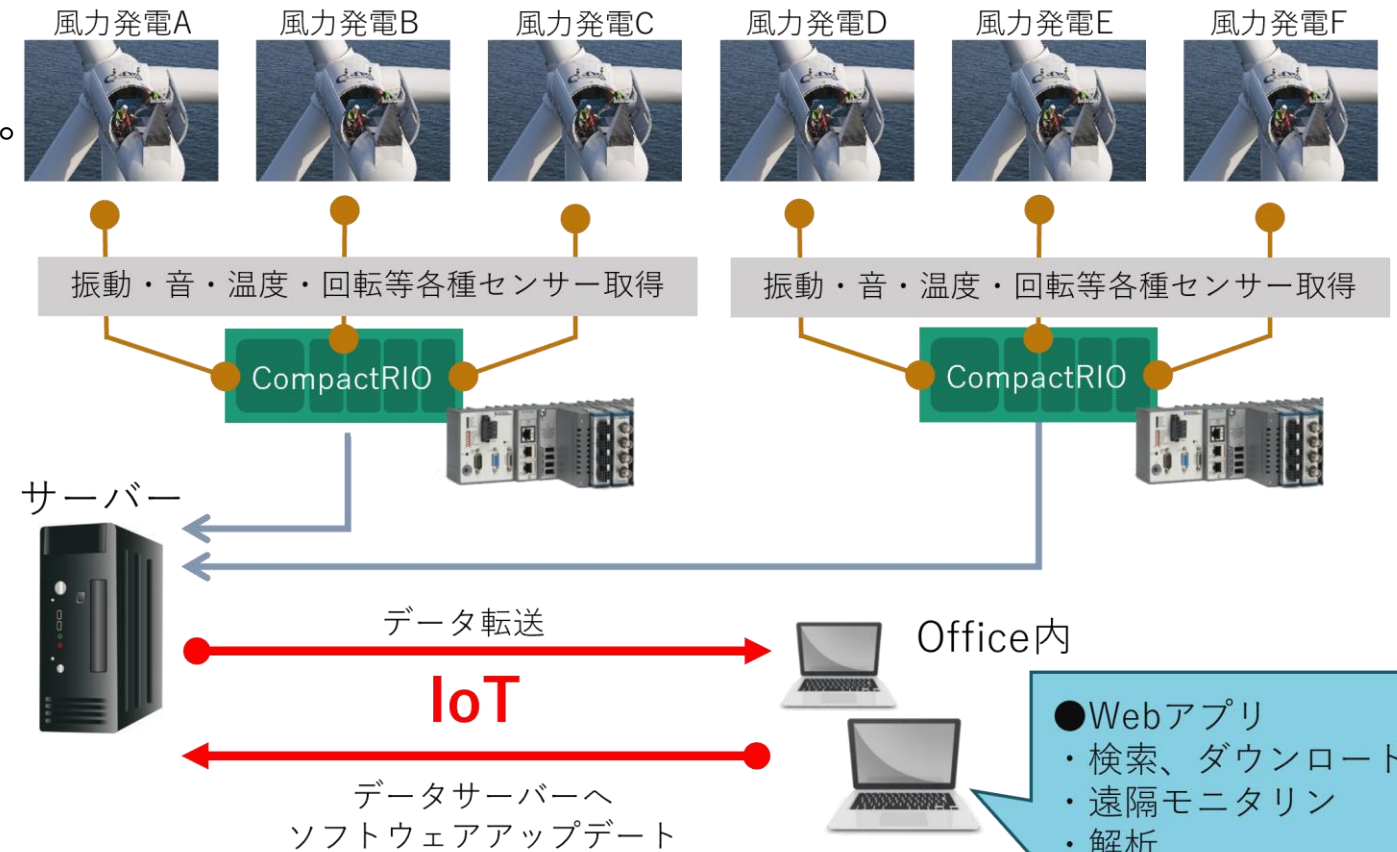




Case Study/事例

既設設備のネットワーク化 風力発電機状態監視

- 風車の回転、振動、音等を常時計測するシステム。
- 解析、解析結果に伴う制御信号出力もエッジ (CompactRIO) 側で対応し、故障を予知。
- サーバーへのデータ転送から遠隔モニタリング、遠隔地からのソフトウェアアップデート。





自動車教習所版DXを推進

自動車教習所向けのeラーニングシステムの開発等、各種ソリューションを提供、国内自動車教習所における主力システムの導入シェアはおよそ60%を占める

2021年リリースのオンライン学科教習ツール「N-LINE」が好調。既存システム（デジタル教習「N-PLUS」）とのクロスセル伸長。

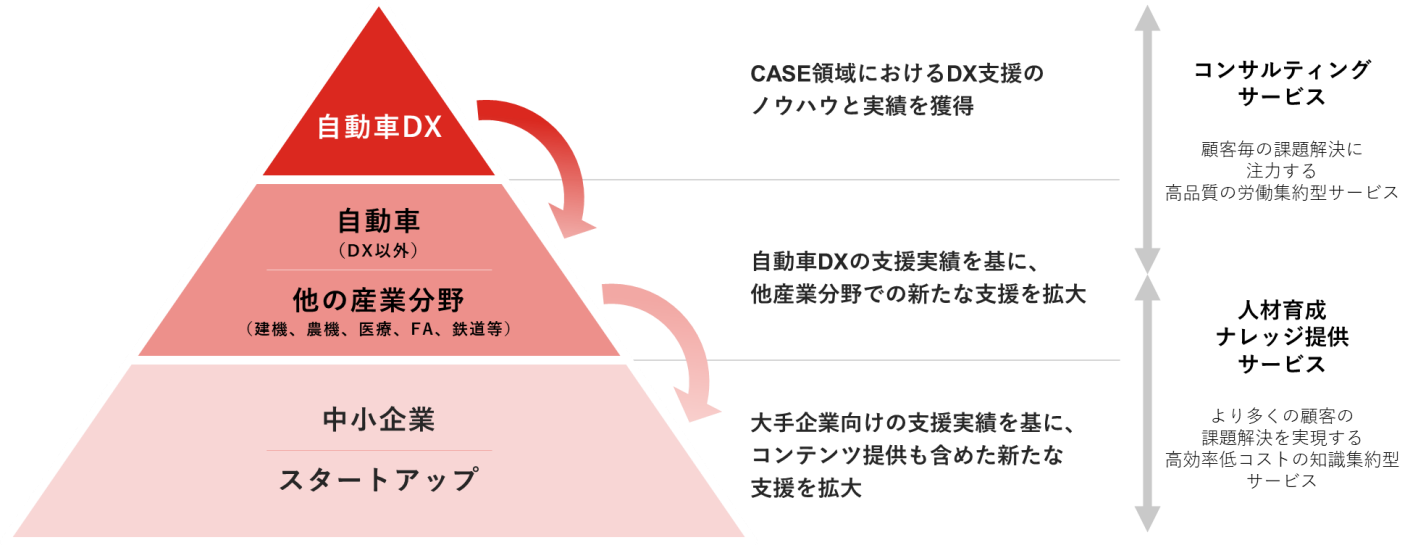
全国教習所1,250校の内、導入実績497校（シェア約70%獲得※）
※オンライン学科教習を実施する教習所の内、約70%が「N-LINE」を使用（2023年7月末時点）

ベトナム教習所事業は旺盛な免許取得需要を背景に順調に進行しており、多店舗化を目指す。現地教習所向けITソリューション販売は、ローカライズ・実証実験を重ね、拡販の体制を構築中。





東証グロース市場：4394



- 組み込みソフトウェア開発に特化したコンサルティングファーム。自動運転（CASE*）や医療分野に強み
- 教育コンテンツプラットフォーム「EurekaBox」の会員数は右肩あがりに増加
- **業務提携やM&Aを実施、事業規模拡大に着手**

① **2023年2月** ソフトウェアの**テスト・品質向上支援**サービスを展開するバルテス（4442）と業務提携バルテスの品質に特化したソフトウェアテストサービスを加えることで、『シフトレフト』ソリューション**の構築を図ります。

② **2023年3月** ソフトウェア・システムの**テスト業務と品質管理業務を専門とする日の出ソフト**を子会社化ソフトウェア開発工程の上流から下流までワンストップで請け負うことが可能になりました。

*CASE=Connected（つながる）、Autonomous（自動運転）、Shared（共有）、Electric（電動）、以上の先端技術分野の頭文字を組み合わせた総称

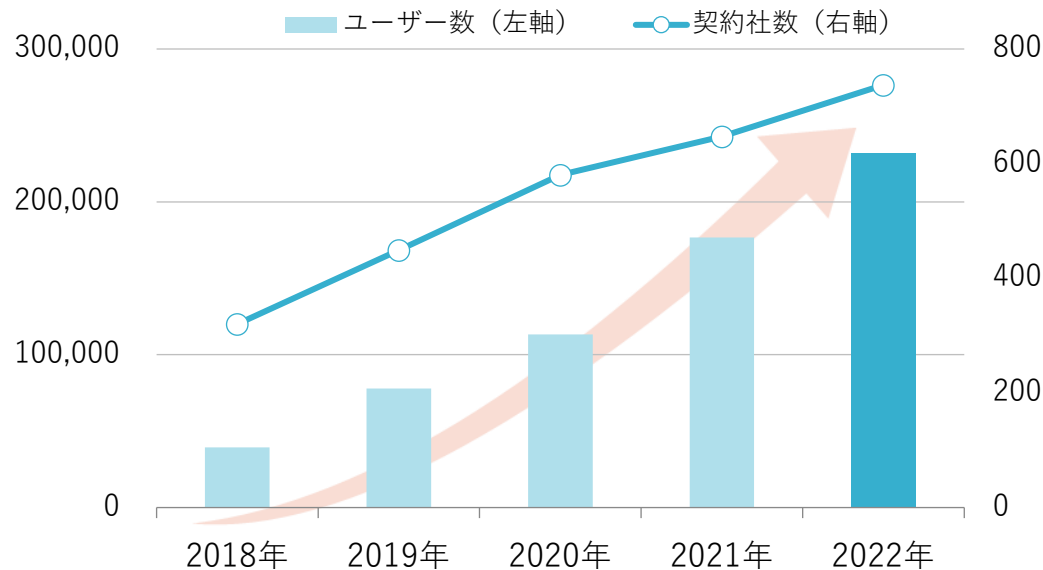
**上流工程での成果物のテストをし、要求や設計の漏れを早期に発見することで、ソフトウェア開発に関して生産性や品質の向上を実現します。




Fleekdrive

SaaS型クラウドサービス「フリードライブ」

KPIの推移



- 企業向けに特化したオンラインストレージサービスを展開。SaaS型のサブスクリプションモデルであり、契約社数や売上高は、積み上がりのモデル
- セールスフォース・ドットコムとも連携、顧客評価で最高位獲得
- 現状国内での競合はなく、最大手の競合は某海外ユニコーン企業
- **2023年4月人事労務向け新サービス「Fleeksorm」リリース。** 給与計算から明細配布、年末調整業務や社会保険などのベースとなる業務に加え、入退社などの手続きをクラウドで完結するサービスで、スキル管理等の人材サーベイも実現 
- 2023年4月末現在、のユーザー数は27万ユーザー、契約社数は781社

お客様例



業績・株主還元



■ 前年同期から大幅な増収増益、売上高は過去最高を達成

売上高77.1億円（前年同期比+13.6%）、営業利益6.2億円（同+40.1%）。
DX関連をはじめ、旺盛な需要を着実に取込む

■ 全てのセグメントで好調、特にソリューション事業が大幅な伸び

全セグメントで売上高の過去最高値を更新。
単価向上や直接顧客比率UP等による収益性の改善も進む

■ 証券系、官公庁系を中心に、DX関連の案件が堅調

デジタル化が遅れてきた業種を中心に、需要は引き続き旺盛

■ 対通期予想進捗は良好も、現時点では通期予想を据え置き

案件の納品が上期に集中した点、子会社の連結決算移行に伴う精査等に鑑み、
予想値は現時点で据え置き

2023年12月期第2四半期 連結業績サマリー



- ・DX関連の旺盛な需要を着実に取込み、前年同期比で大幅な増収増益を達成
- ・単価や直接顧客比率の向上に加え、ソリューション事業の黒字化もあり各利益は大幅な増益となった

(単位:百万円)	2022/12期 2Q (前期実績)	2023/12期 2Q (今期実績)	前年同期比 増減率	2022/12期 2Q (期初計画)	対計画比 増減率	詳細
売上高	6,796	7,718	13.6%	7,500	+2.9%	DX関連需要は引き続き旺盛。半導体不足等の外部環境の向かい風も落ち着き、全事業とも好調
売上総利益	1,610	1,921	19.3%	1,800	+6.7%	案件の単価向上や元請け比率向上、ソリューション事業の好調さがけん引し、大幅な上昇
販売管理費	1,163	1,295	11.3%	1,300	-0.4%	採用等の人件費は増加も、売上高比率では前年同期を下回る水準
営業利益	446	625	40.1%	500	+25.2%	売上総利益の向上に伴い大幅な上昇、第2四半期単独では過去最高水準
経常利益	439	660	50.6%	500	+32.2%	営業利益同様、過去最高水準
親会社株主に帰属する 四半期純利益	228	483	111.0%	300	+61.1%	利益面の上昇に加え、特別利益に有価証券売却益を計上
EPS (円)	9.42	19.87	110.9%	—	—	—

2023年12月期 連結業績計画と進捗



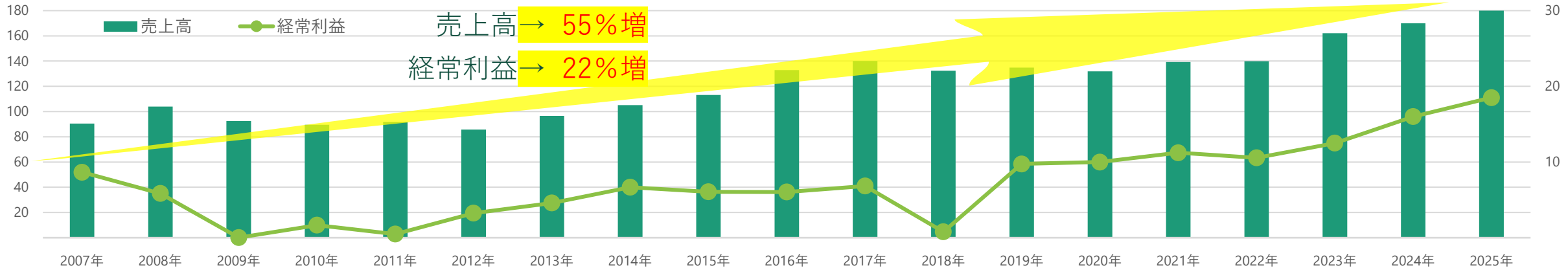
- 上期は期初の想定を超える好調さをみせ、上方修正を発表しての決算となった
- 下期偏重の計画であり、下期も好調さは続く見通しだが、子会社のエクスマーションがM&Aを実施し連結化、更に外的要因の影響度合いは不透明であり、現時点で通期予想は据え置く
- DX/ICT投資需要は旺盛、**売上高・経常利益までの各利益で過去最高値の更新**を見込む

(単位:百万円)	2022/12期		2023/12期			通期計画 進捗率
	通期実績	売上高比	2Q実績	通期予想	売上高比	
売上高	13,986	-	7,718	16,200	-	47.6%
売上総利益	3,341	23.9%	1,921	3,800	23.5%	50.6%
営業利益	1,029	7.4%	625	1,250	7.7%	50.0%
経常利益	1,056	7.6%	660	1,250	7.7%	52.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	564	4.0%	483	750	4.6%	64.4%

成長の軌跡



2007年度→2022年度



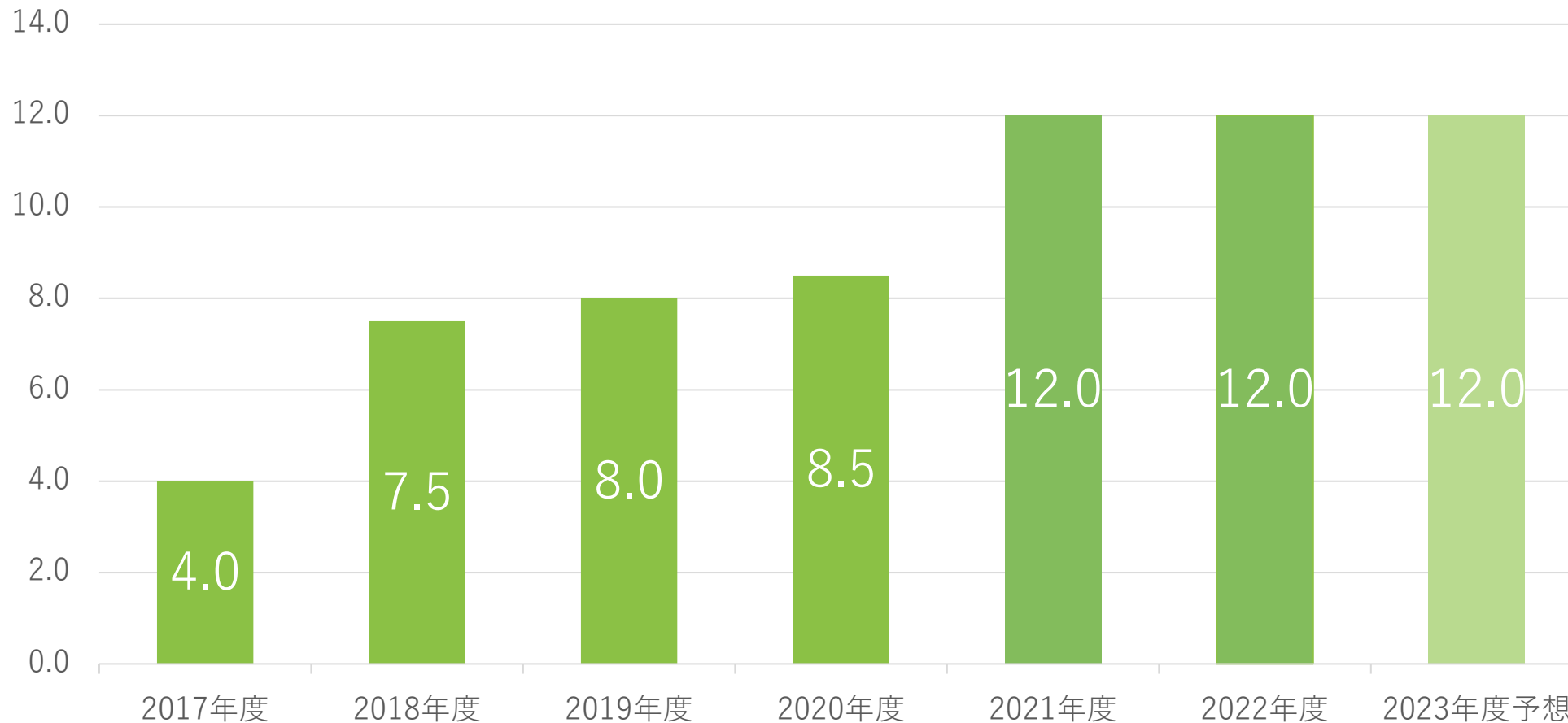
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 計画	2024 計画	2025 計画
売上高 (百万円)	9,044	10,397	9,249	8,950	9,178	8,570	9,656	10,507	11,315	13,288	14,001	13,228	13,478	13,186	13,922	13,986	16,200	17,000	18,000
経常利益 (百万円)	866	585	2	166	49	325	459	667	607	604	683	78	975	999	1,123	1,056	1,250	1,600	1,850
当期純利益 (百万円)	455	115	△1,106	6	△154	184	269	414	300	363	411	147	567	593	1,060	564	750	1,000	1,200
純資産 (百万円)	4,150	4,125	2,906	2,705	2,111	2,283	2,812	3,048	4,041	4,220	4,851	6,477	6,455	6,815	7,522	7,817	-	-	-
1株あたり 当期純利益 (円)	49.29	9.35	△90.13	0.51	△14.30	17.17	25.17	38.63	26.57	30.21	33.77	11.90	46.64	49.55	43.69	23.21	-	-	-
自己資本 当期純利益率 (%)	12.9	2.8	△31.6	0.2	△6.5	8.4	10.7	14.3	8.6	9.0	9.3	2.8	9.7	10.0	16.5	8.2	-	-	-
配当 (円)	10	10	-	5	5	5	5	5	5	8	8	15	16	17	12	12	-	-	-

株主還元方針



- 23/12期は1株当たり配当額12.0円を予定
- 今後も業績や配当性向を考慮しながら、安定した配当の実施を重視

1株当たり配当金額の推移



※2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

中期経営計画

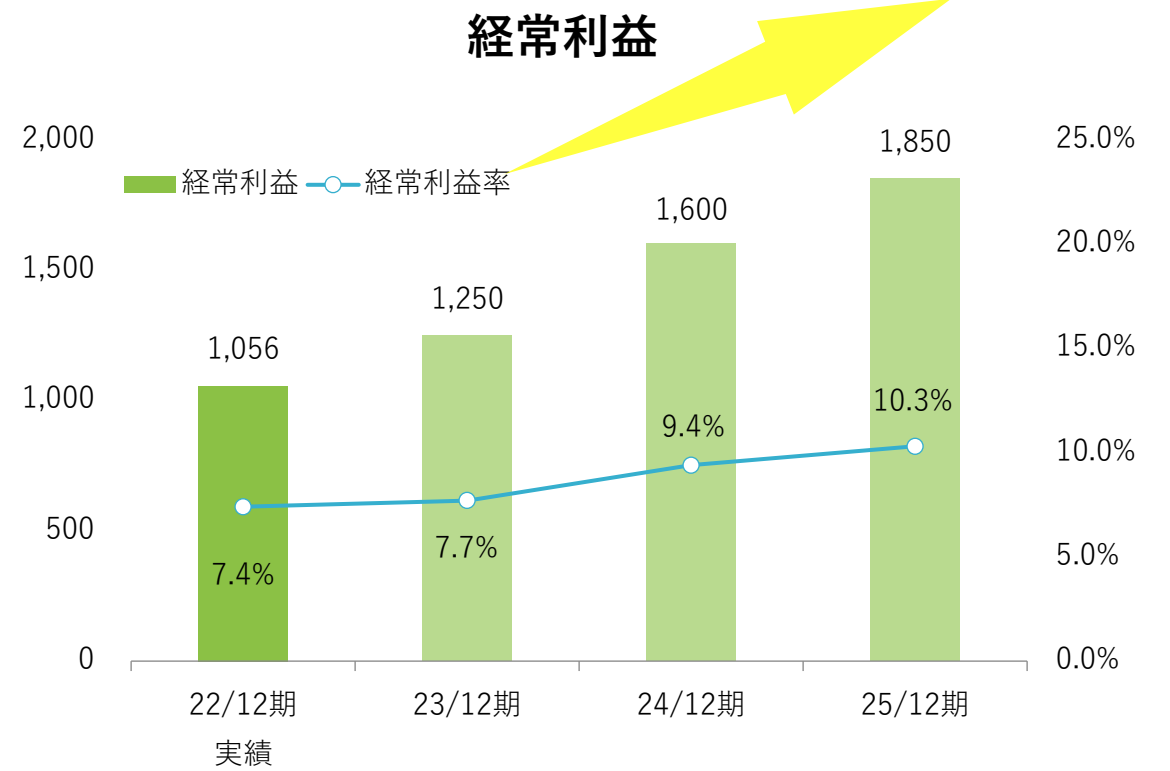
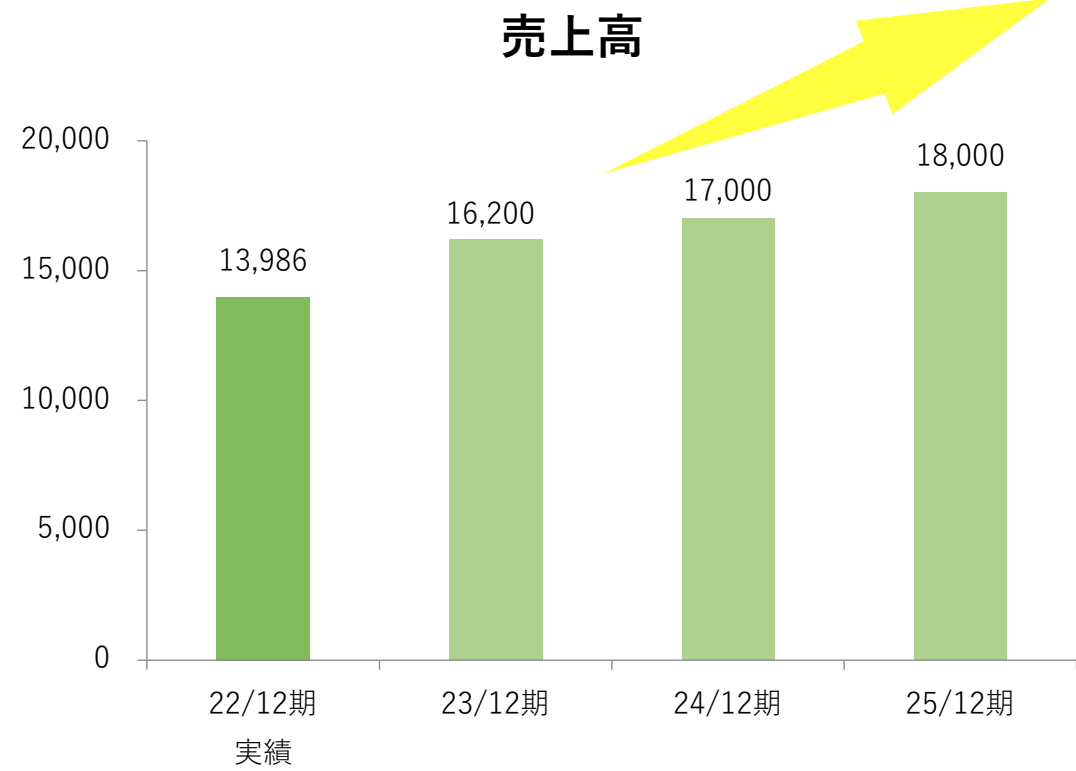


- 1 経営基盤の強化** 経営資源の成長分野への集中や、不採算部門の再構築を進める子会社とのシナジーが見込める成長分野に積極的に進出
- 2 SIビジネスの競争力強化** 業種・業務別の専門特化戦略を継続して推進、非価格競争力を強化するとともに、オフショア・ニアショア開発の積極利用により価格競争力も強化
- 3 ストック型ビジネスの強化・拡大** FleekdriveやIoTソリューションといったストックビジネスを強化。将来的に営業利益額において50：50の比率を目指す
- 4 海外マーケットの拡大** 海外マーケットへの製品・サービス展開を通じ、新たなストック型ビジネスの基盤とする。足がかりとして、自動車教習所向けソリューションのベトナムへの展開を推進

中期計画目標数値



- クレジットを含む金融分野のDX需要は中長期にわたり堅調な推移を見込む
- 売上高、経常利益ともに過去最高値を每期更新する予定
- 今期はクラウドサービスの開発投資等もあり利益率は横ばいも、同事業を含むストック型ビジネスの拡大や収益性向上により、24/12期以降、利益率は高い伸びを見込む



トピックス



エクスマーショ 日の出ソフトがグループ入り



日の出ソフト株式会社
HINODE SOFT INC.

- ・エクスマーションがソフトウェアテスト専門会社の日の出ソフトを子会社化、今期より連結決算に移行
- ・エクスマーションが得意とする設計支援に日の出ソフト社のテスト業務の技術力を加えることで、設計からソフトウェア検証業務までのトータルコンサルティングとしての案件獲得を図る
- ・生成AIを活用した開発支援サービスも開発中、年内にもβ版をローンチ予定

eスポーツのeek eスポーツコンサルタント契約締結



- ・2023年7月、札幌でオープンしたeスポーツ施設「NAEBO eSPORTS STATION」の開業にあたり、eekが開業支援コンサルタント契約を締結し、開業を実現
- ・開業後も小学生向けeスポーツ教室の開催など、引き続き支援を行う予定

Fleekdrive 住信SBIネット銀行に採用



- ・2023年3月に上場した住信SBIネット銀行(株)は、2017年よりFleekdriveを導入
- ・ネットバンキングという高速かつ高セキュリティなサービスが求められる業界の中で、国産である安全性、高いセキュリティ性等を考慮し、当製品を採用
- ・業務効率化の実現により年間100万円相当のコスト削減に寄与



Fleekdrive 住信SBIネット銀行の事例がニッキンに掲載

ニッキン

日本金融通信社 ニッキン 2023年8月4日号 掲載

- 社内の情報ガバナンスやセキュリティが強化
- 共有ファイルごとに承認フローを細かく設定することで情報漏洩を防止
- 協力会社とファイルを共有する場合は、IPアドレスで制限可能
- API連携により、自動化のバッチ処理や代理店による住宅ローン審査にも対応

住信SBIネット銀行
ファイルなどクラウド管理
業務効率化や漏洩防止

住信SBIネット銀行は、フリークラウドを実現した。Fleekdriveが提供するクラウドストレージ「File e」は、どこからでもアクセス可能で、レフトで入手する書類、情報、クヤ現場で働く人とのデータなどのコンテンツ。ファイル共有に役立つツにより、内部向けサービス。社内連携や

料ドラフトの迅速作成 コミュニケーション上の効果が期待でき、社外とも安全に情報を共有することが可能だ。それまで部門ごとにバラバラだったファイル共有をFleekdriveに一本化し、

部署間のファイルのやりとりが簡単になった。このクラウドストレージ導入により、社内の情報ガバナンスやセキュリティも強化。共有ファイルごとに承認フローを細かく設定することで情報漏洩を防止できる。

また、協力会社と共有する場合は、IPアドレスで制限も可能。協力企業ごとのセキュリティポリシーに従

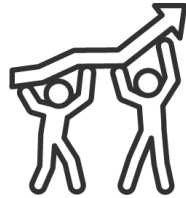
える仕組みのため、携する金融機関も安心して情報共有ができる。なお、API（データ連携の接続仕様）連携も可能で、自動化のバッチ処理や代理店による住宅ローン審査にも対応できる。

同行の佐藤武システム運営部長は、「クラウド化で社内の業務円滑化や精神的な負荷削減などが図れている」と語る。

改めて、ソルクシーズグループの強み



金融系開発に強み。特にクレジットが得意



成長を期待できる子会社が多い



FinTech/IoT/AI/CASE/クラウド に注力



多彩なDX支援実績あり

ソルクシーズグループはどんな会社？

「金融システムに強いシステム開発会社」から

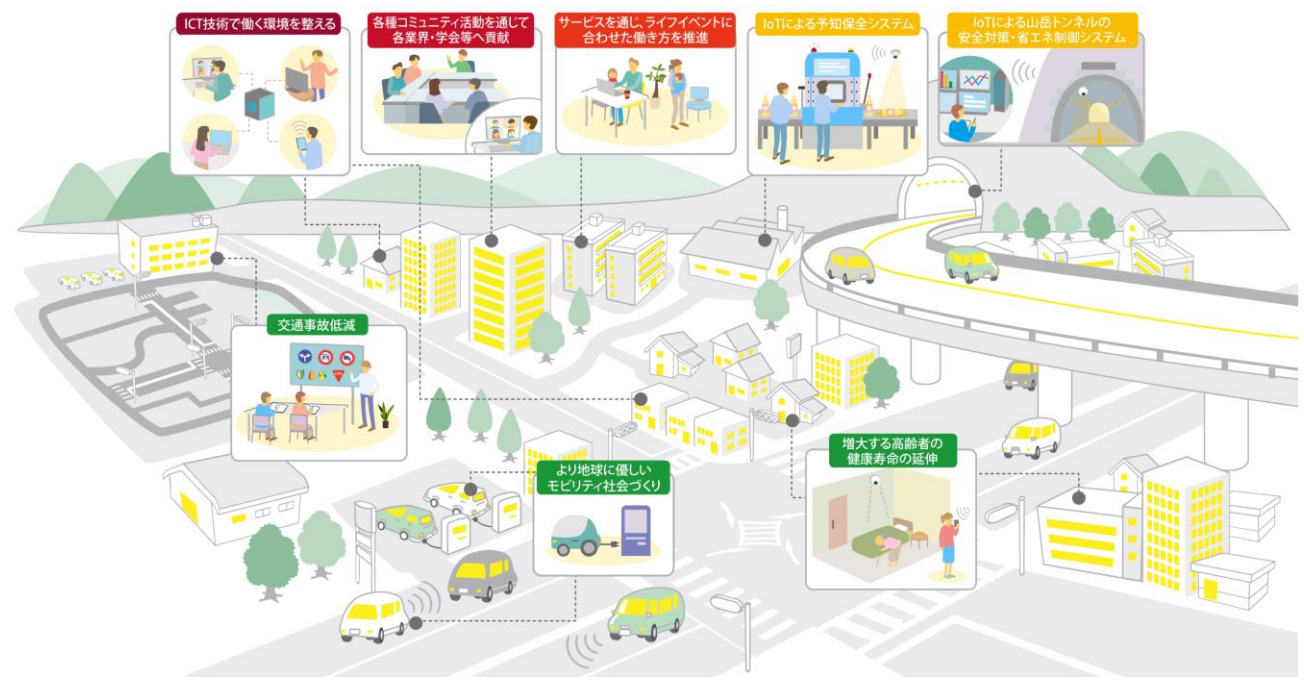


「DXで日本のビジネスを導く会社」へ



APPENDIX

サステナビリティ経営を推進し
半世紀、100年後も末永く愛される
「愛と夢のある企業」を目指します



経営のモットー

愛と夢のある企業



経営理念

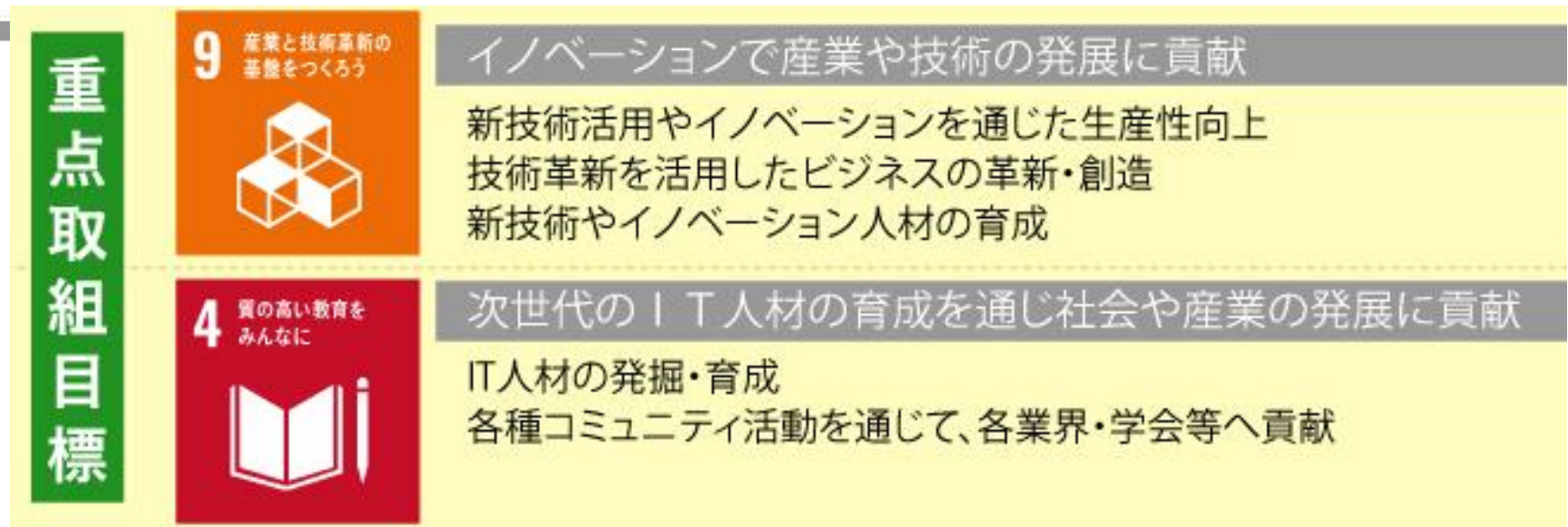
- 高い技術力を持ち社会に貢献する
- お客様に最高の満足を提供する
- 皆が夢を持ち続けられる企業を目指す
- グローバル企業を目指す
- 新ビジネス・新技術へチャレンジする

SDGs達成に向けた重点取り組み目標



SDGsの17の目標に対し、4と9を重点目標に設定

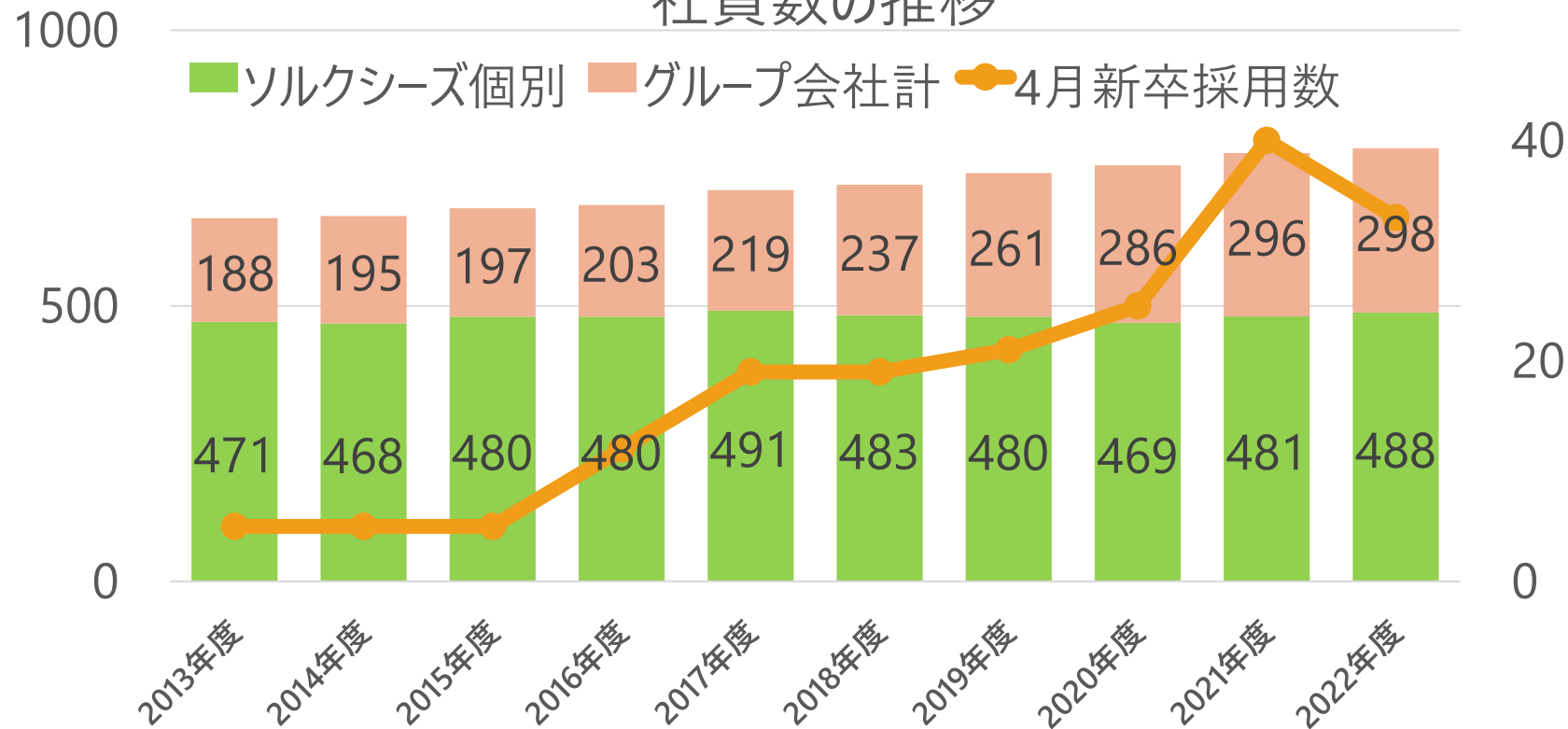
世界が直面する経済・社会・環境の三側面における関連課題との相互関連性・相乗効果を重視し、統合的向上を目指してまいります。



採用者数の推移

- グループ全体では2013年度以降、659名→786名と**19.3%増員**
- 2021年度より未経験者採用をスタートし、採用の間口を広げる
- 離職率は2022年度5.2%。業界平均6.4%（厚生労働省より）を下回る

社員数の推移



■ 2023年度の新卒採用数は19名

■ 2019年5月にFleekdriveを分社設立した事による増減あり

APPENDIX ソルクシーズグループ



株式会社ソルクシーズ

各業種に特化したITサービスとソリューションの提供

- 証券、信販・クレジット、生損保
- 情報・通信、メディア、製造、流通
- 官公庁
- セキュリティサービス



株式会社 コアネクスト

投信・投資顧問会社向けのシステム開発、コンサルティングサービス

- 投信・投資顧問、J-REIT



株式会社 ノイマン

自動車教習所向け効果測定や学科学習システム、基幹システムの開発・販売。学生向けeラーニングシステムの開発・販売

- 自動車教習所
- 学習塾



Infinite Consulting
株式会社
インフィニットコンサルティング

システムの企画・提案に関するコンサルティング、システムマネジメント支援

- 銀行、証券、信販・クレジット
- 情報・通信、メディア、製造、流通



株式会社 アスウェア

ICTインフラ分野のコンサルティングから提案・設計・構築まで支援

- 情報・通信



株式会社 Fleekdrive

企業向けオンラインストレージサービス及び、クラウド帳票サービス

- 各種企業



株式会社
アリアドネ・インターナショナル・コンサルティング

クレジット業務全般に関するシステムの企画・提案、コンサルティングサービス

- 信販・クレジット



株式会社 エクスモーション

オブジェクト指向技術を用いた、組込システムの設計支援、人材育成のサポートなど実践型コンサルティング

- 製造 (自動車・OA機器)



株式会社 eek

企業向けeスポーツコンサルティング業務、eスポーツアスリートエージェント業務

- 専門学校・教育機関
- 各種企業



株式会社 エフ・エフ・ソル

銀行を中心としたソフトウェア受託開発事業、オープン系パッケージソフトの開発・販売

- 銀行・信用金庫



株式会社 イー・アイ・ソル

組込・制御・計測系を中心としたソフトウェア受託開発、ソリューションの開発・販売

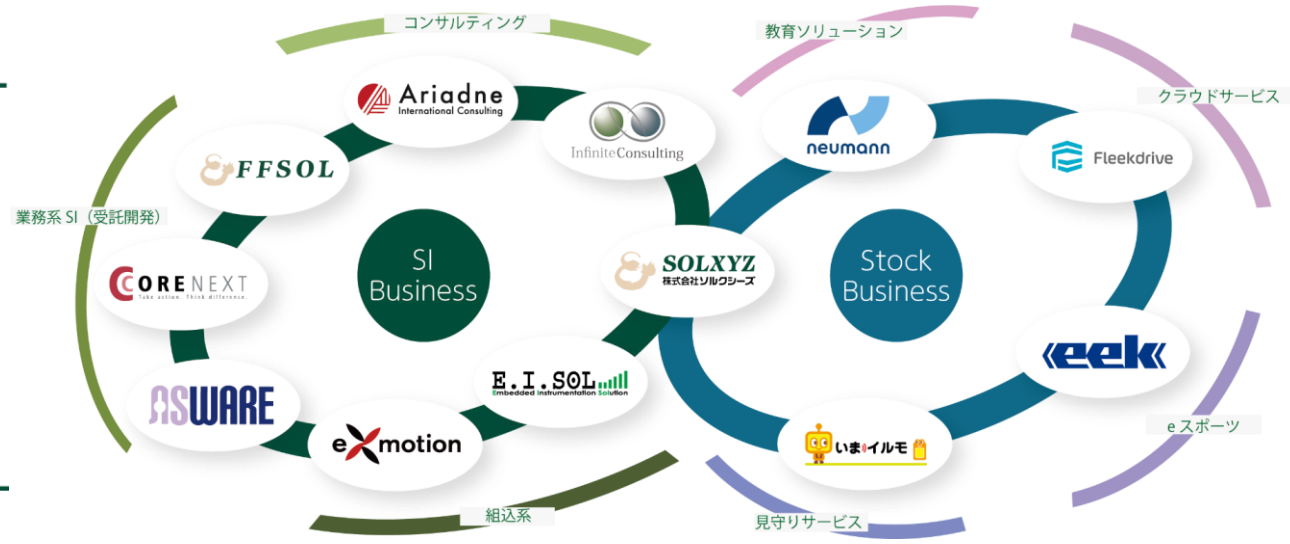
- 製造
- 官公庁



いまイルモ

一般消費者及び施設向けの複数センサーによる見守りシステムの企画・製造・販売

- 一般家庭、介護施設



ソルクシーズグループは
SIビジネスとストックビジネスの両輪で
お客様のニーズに最適な
ソリューションをご提供します

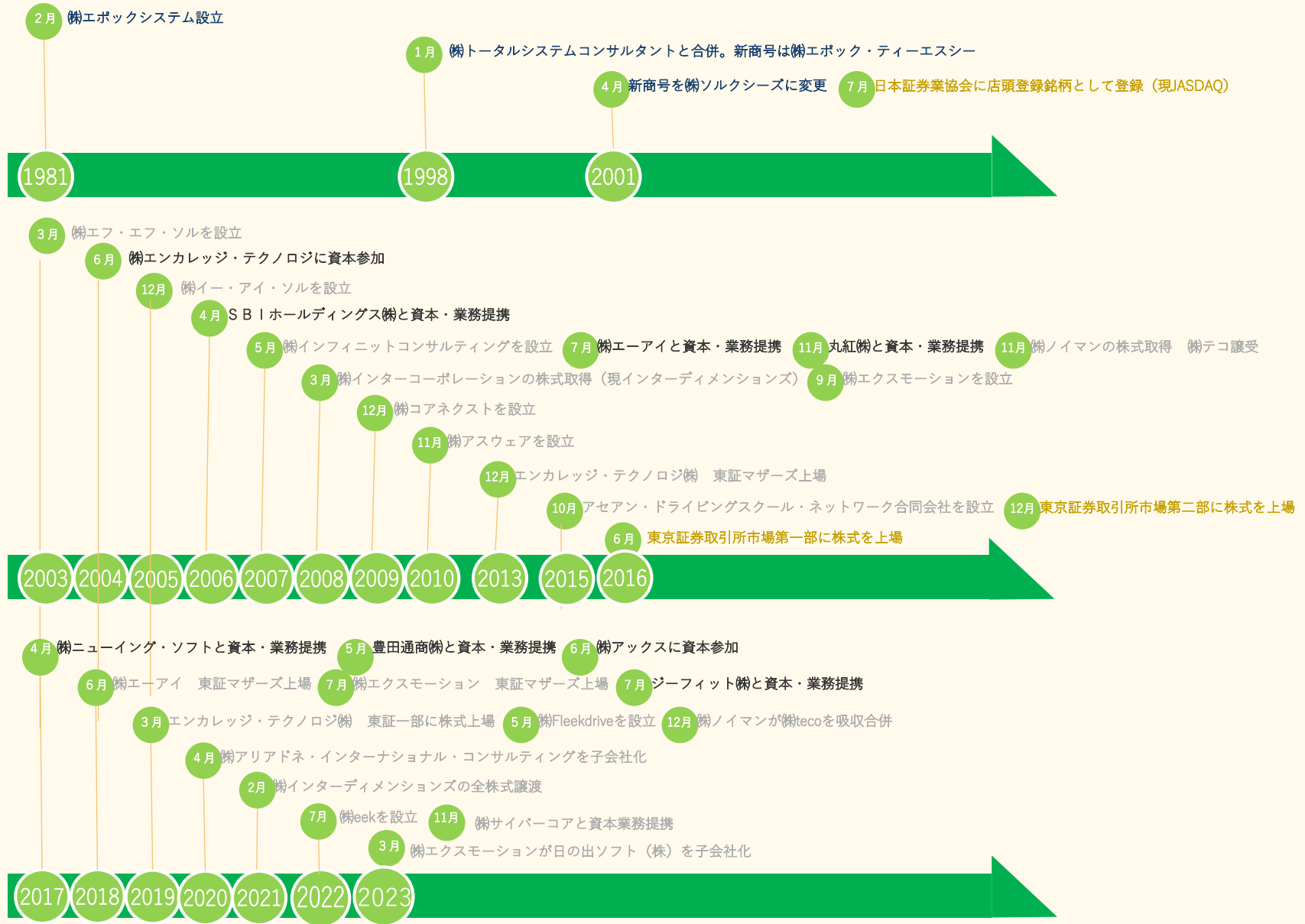
APPENDIX 沿革



設立～上場

グループ構築開始～東証一部上場

企業価値向上に向けた新たなステージ



免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら、実際には通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、当資料記載の業績見通しとは異なるリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。

【本資料へのお問い合わせ先】

株式会社 ソルクシーズ 経営企画室 荒木

E-mail: ir-post@solxyz.co.jp

Tel: 03-6722-5011 Fax: 03-6722-5021

<https://www.solxyz.co.jp>



DXで日本のビジネスを導く会社へ

SOLXYZとは究極（XYZ）の問題解決（Solution）を提供したい
という願いを込めた社名です。

私たちは技術を通じて社会に貢献し、半世紀、100年後も
未永く愛される「愛と夢のある企業」を目指します。

<https://www.solxyz.co.jp>
